

DYNAC

株式会社ダイナック

証券コード: 2675

2015年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2015年8月7日

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

1	2015年12月期 第2四半期 決算説明
2	当期の取り組み及び今後の重点施策
3	2015年12月期 通期業績予想

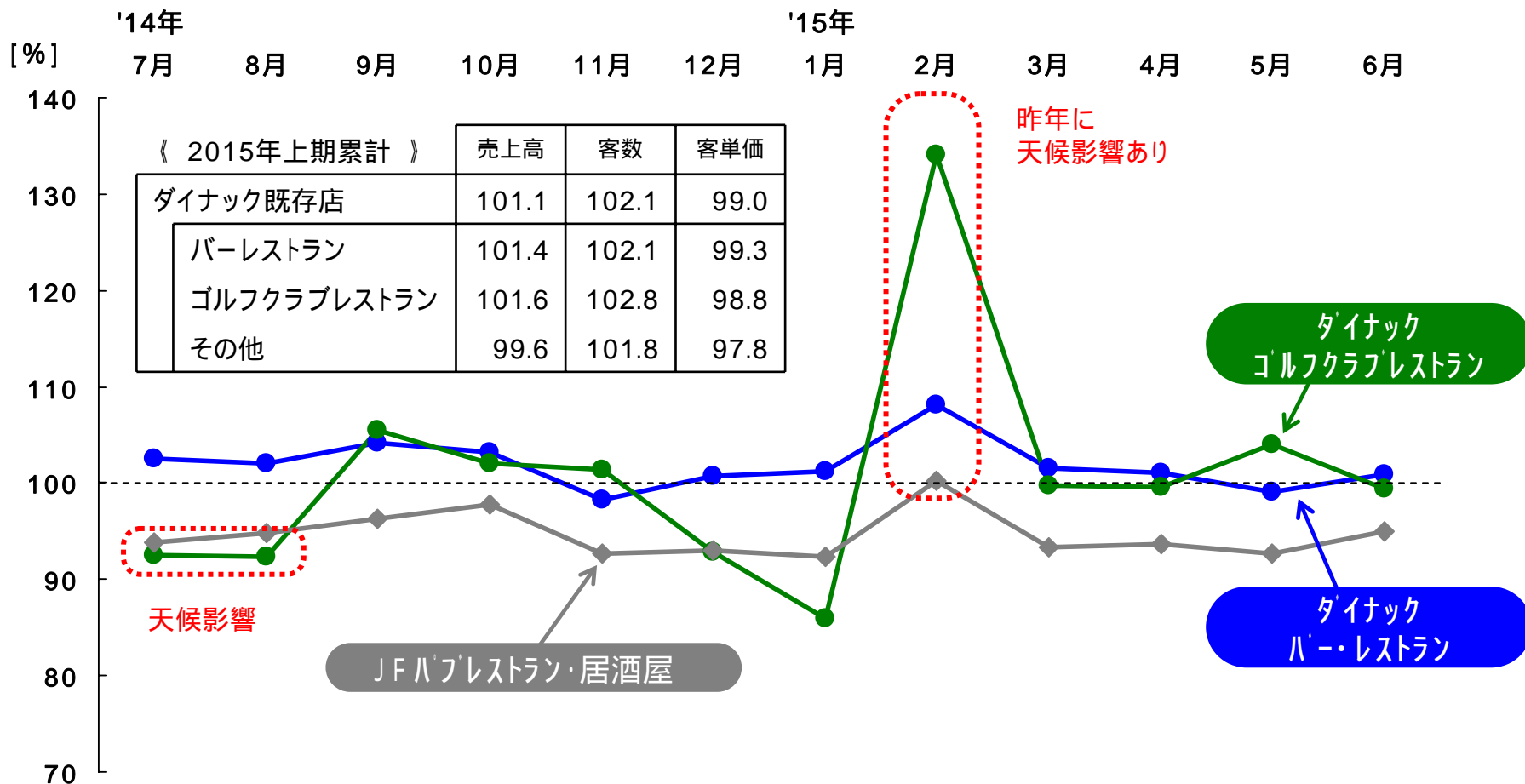
百万未満切捨て
(百万円、%)

	'15年12月期 第2Q実績	'14年12月期 第2Q実績	増減	前期比	'15年12月期 第2Q期初予想
売上高	17,387	16,773	614	103.7	17,290
営業利益	213	156	57	136.9	250
経常利益	209	145	64	144.4	240
当期純利益	2	37	(39)	—	50

第2四半期累計期間は、ほぼ計画通りに推移

四半期純損失は、平成27年度税制改正による法定実効税率の引き下げに伴い、繰延税金資産の取崩しを実施したことにより法人税等調整額(税金費用)が増加したこと等による

既存店売上高前年比



大雪のあった前年と比べて、穏やかな日が多かったこと、倶楽部ダイナック(顧客会員カード)による販売促進活動等により、既存店の売上高は、市場トレンドを上回るトレンドで堅調に推移

JF(日本フードサービス協会)パブレストラン・居酒屋の売上高前比は全店ベース

(店)

	'14年 期末 店舗	'15年上期 実績			期末 店舗数
		出店	業態 変更	閉店	
バーレストラン	157	4	3	4	157
ゴルフクラブレストラン	66	6	—	0	72
その他受託	28	0	—	0	28
合計	251	10	3	4	257

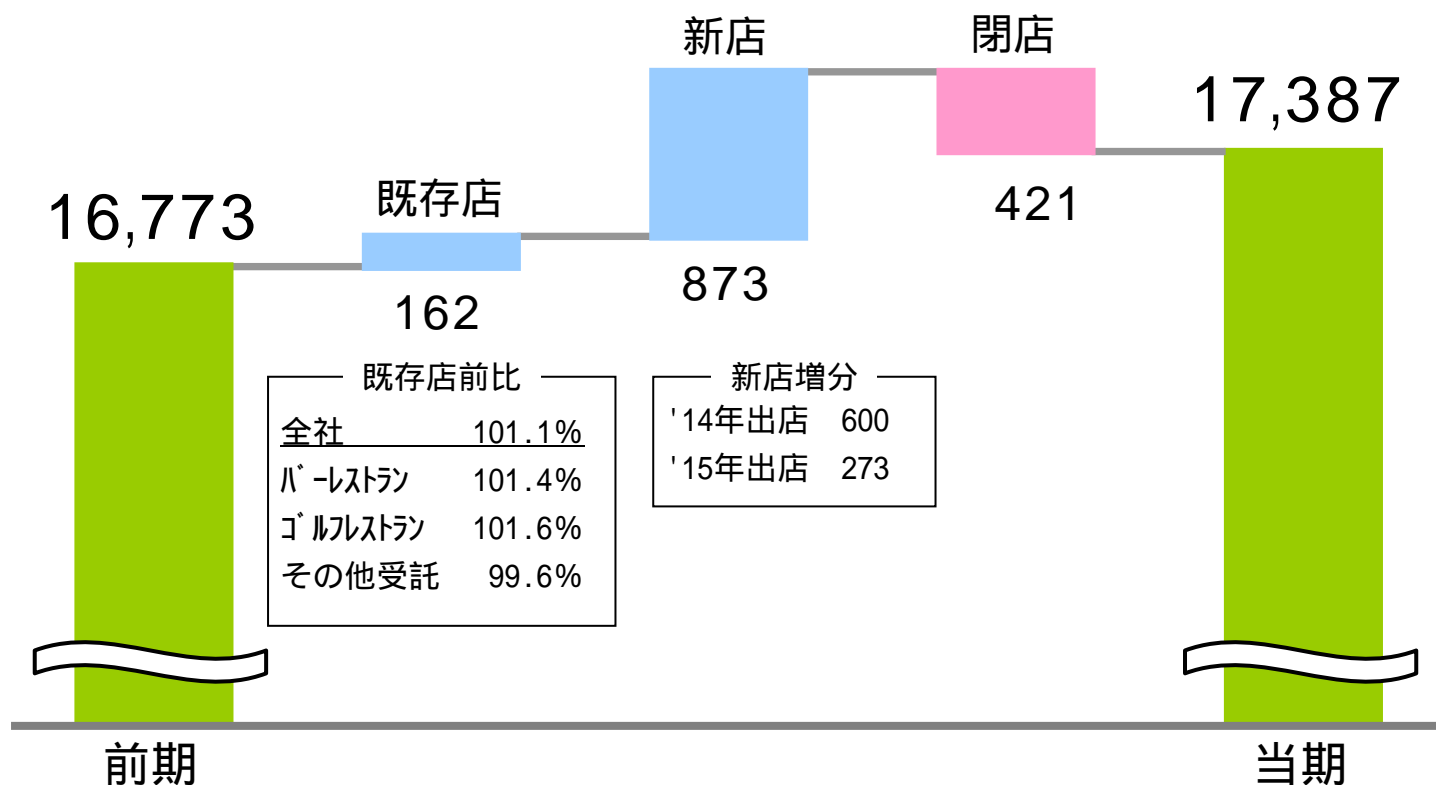
業務運営受託店舗5店を除く

出店・業態変更・閉店とも、ほぼ計画どおりに実施

売上高 対前年 増減

(百万円、%)

	'14年12月期 第2Q実績	'15年12月期 第2Q実績	前期比	増減
売上高	16,773	17,387	103.7	614



'15年12月期 第2Q決算ハイライト - 損益計算書



(単位: 百万円、%)

	前年		当年		増減	前期比
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	16,773	100.0	17,387	100.0	615	103.7
売上原価	14,835	88.4	15,264	87.8	(429)	102.9
売上総利益	1,937	11.6	2,123	12.2	186	109.6
販売管理費	1,781	10.6	1,909	11.0	(128)	107.2
営業利益	156	0.9	213	1.2	58	136.9
営業外収支	10	-	3	-	(7)	-
経常利益	145	0.9	209	1.2	65	144.4
特別損益	41	-	63	-	(22)	-
税引前当期純利益	103	0.6	146	0.8	43	141.7
法人税等	66	0.4	148	0.9	(82)	224.3
当期純利益	37	0.2	2	-	(40)	-

主な増減要因

● 売上原価 売上構成比 0.6ポイントダウン

- 食材共通化等による原材料仕入単価の減
- 省エネ活動推進による水光熱費のダウン等、店舗管理コストの最適化

● 販売管理費

- クレジット手数料の増
- 倶楽部ダイナックポイント引当繰入額の増
- パートナー福利厚生制度新設に伴う費用の増

● 営業外収支

- 支払利息の減

● 特別損益

- 減損損失の計上

● 法人税等

- 税制改正による法定実効税率の引き下げに伴う繰延税金資産の取崩し

原材料価格の高騰、人件費関連費用の増加等、厳しい環境の中、
店舗管理コストの最適化に努めたことにより、
売上総利益 9.6%増、売上総利益率 0.6%UP、経常利益 65百万増

'15年12月期 第2Q決算ハイライト - 貸借対照表



(単位: 百万円)

	'14年 12月末	'15年 6月末	増減
流動資産	3,325	2,941	-384
固定資産	10,487	10,231	-256
有形固定資産	4,534	4,504	-30
無形固定資産	98	108	+10
投資その他の資産	5,854	5,618	-236
敷金保証金	4,938	4,876	-62
その他	916	741	-175
資産合計	13,812	13,172	-640
流動負債	6,765	7,006	+241
固定負債	3,473	2,421	-1,052
負債合計	10,239	9,427	-811
純資産合計	3,573	3,744	+171
負債・純資産合計	13,812	13,172	-640

主な増減要因

● 流動資産

- 売掛金の減少 (-291)
- 現金及び預金の減少 (-80)

● 固定資産

- 繰延税金資産の減少 (-174) 1・2
- 建物の減少 (-64)

● 負債

- 買掛金の減少 (-798)
- 未払消費税等及び未払法人税等の未払税金の減少 (-469)
- 退職給付引当金の減少 (-277) 1
- 未払費用の減少 (-253)
- 借入金の増加 (+1,065)

● 純資産

- 利益剰余金 (+166) 1

1. 退職給付会計変更により、退職給付債務が減少したことによる
2. 平成27年度税制改正による法人実効税率引き下げに伴う、繰延税金資産の一部取り崩しを含む

(単位: 百万円)

	前年	当年
営業活動によるCF	361	724
投資活動によるCF	292	385
財務活動によるCF	579	1,029
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	74	80
現金及び現金同等物の期首残高	468	475
現金及び現金同等物の期末残高	393	394

主な内訳 (当事業年度)

● 営業CF

- 減価償却費の計上 352
- 売上債権の減少 291
- 仕入債務の減少 798
- 法人税等の支払 282 1
- 未払消費税等の減少 266 2

● 投資CF

- 有形固定資産の取得 387

● 財務CF

- 借入金の収入と返済による資金収支 1,065

- 1 法人税等の支払額 : 前第2四半期累計期間 111百万円、当第2四半期累計期間 282百万円
 2 未払消費税等の増減額: 前第2四半期累計期間 55百万円、当第2四半期累計期間 266百万円
 (は減少)

1	2015年12月期 第2四半期 決算説明
2	当期の取り組み及び今後の重点施策
3	2015年12月期 業績予想

(都心部飲食店) 直営ビジネス

消費者の飲食形態が変化

- ✓ 『ウリ』が明確な業態は好調
- ✓ 総合的な際立った特徴がない業態は低調

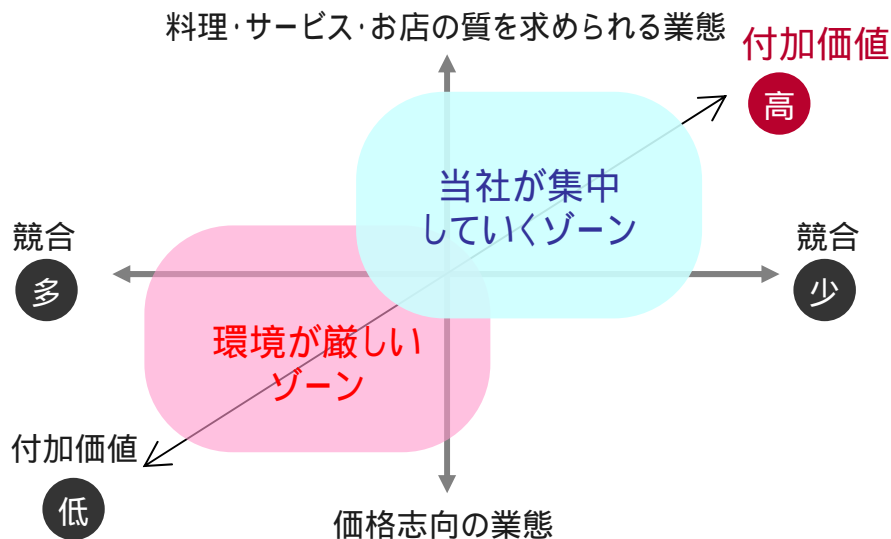
高付加価値業態の強化
業態シフトの加速

受託ビジネス

法人契約ビジネス

- ✓ アウトソーシングニーズは拡大
- ✓ 参入障壁は高く、プレイヤーは横ばい

大きく強化・拡大を図るビジネス



- ◆ ゴルフ場レストラン
- ◆ サービスエリア・道の駅
- ◆ 文化施設・レジャー施設
- ◆ パーティ・ケータリング

外食産業を取り巻く課題

価格一辺倒より質を求める
消費者嗜好の強まり

インバウンド需要の拡大

人手不足に伴う人件費の増加

円安等による原材料費の高騰

当社の対応

- 既存店のQSCブラッシュアップ
- 特徴ある戦略業態への変更

- お迎え体制の整備
(Wi-Fi、メニュー、銀聯カードなど)



- リブランディングによる客単価向上
- 店舗ドミナント特性を活かした募集採用と機動的なスタッフ配置
- 働きやすい職場環境の整備による人材確保

- ブランドを横断した共通食材の拡大による購買効率化の継続

■ 優良な事業ポートフォリオを活かし、付加価値の高い分野の業容拡大・店舗数拡大

■ スケールメリット、ブランド強化を実現し、高収益構造へ変革

ポイント1 受託ビジネスの着実な受注

- 参入障壁が高く、投資効率もよい受託ビジネスを着実に受注し、ビジネス領域を拡大

ポイント2 高付加価値業態の強化・業態シフト加速

- 立地・物件を厳選し、確実に出店
- 高付加価値業態の拡大

ポイント3 基盤となる機能・サービスの革新

- 常連客づくりの徹底
- コスト改善、収益性向上への取り組み

ポイント4 強みの源泉のブラッシュアップ

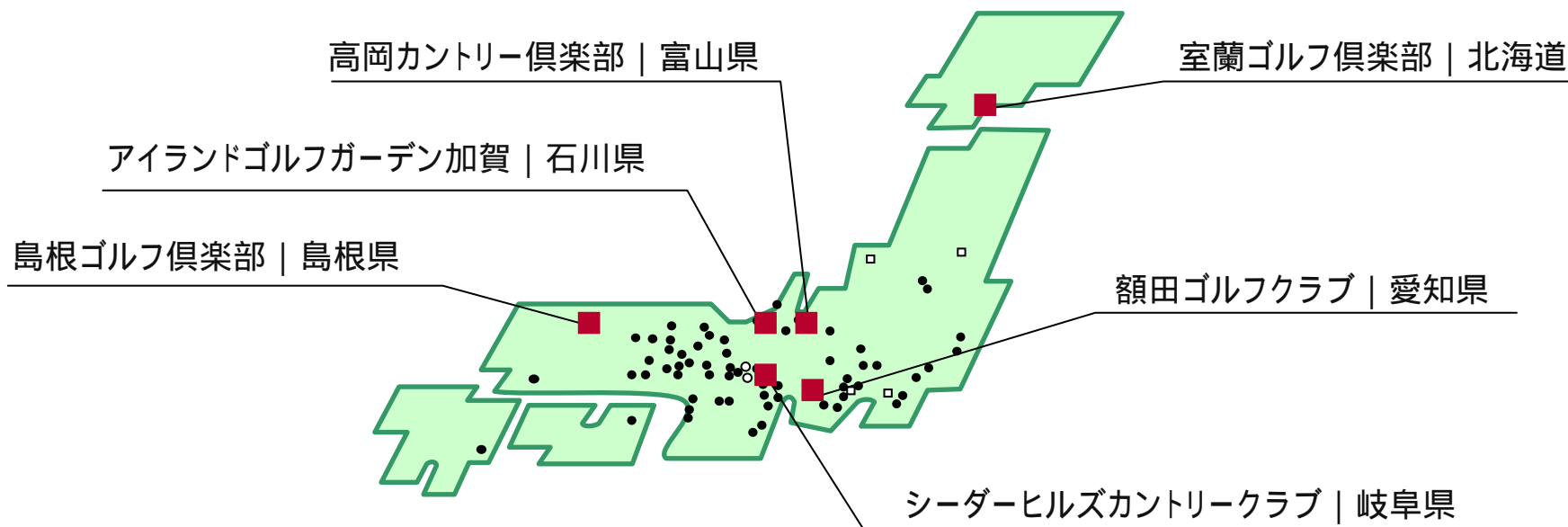
- 商品開発力・アレンジ力アップ
- 現場力・オペレーション力アップ

基本方針

参入障壁が高く、投資効率も良い受託ビジネスを
ブランド力とスケールメリットを活かし強化拡大

長年の実績と蓄積されたノウハウ
ゴルフクラブレストラン領域

'15年上期 新規受託



上期6件を新規受託、レジャー施設等を含め下期4件の受託を予定

売上好調の『魚盛(うおもり)』ブランドの更なる出店

～ 2015年上期1店、下期2店の出店を予定 ～



- 「気軽に美味しい魚料理をリーズナブルに楽しみたい」との顧客ニーズの高まりに対応
- 食の流行に左右されにくく、安定した売上・利益確保が期待できる業態

魚盛 神田東口店



	店舗名	タイプ	オープン日	坪数	席数
1号店	御茶ノ水店	酒場タイプ	2010/11/1	53	94
2号店	池袋店	ミドルアッパー	2011/11/8	108	172
3号店	丸の内店	酒場タイプ	2012/3/15	43	94
4号店	西新宿アイランドタワー店	酒場タイプ	2013/1/15	46	80
5号店	新宿三丁目店	ミドルアッパー	2013/3/1	190	315
6号店	町田店	ミドルアッパー	2013/3/7	97	134
7号店	大手町店	酒場タイプ	2013/5/10	47	83
8号店	日本橋店	酒場タイプ	2013/6/10	48	94
9号店	有楽町店	酒場タイプ	2013/9/2	79	146
10号店	堂島アバンザ店	酒場タイプ	2014/11/17	59	105
11号店	浦和店	酒場タイプ	2014/11/25	63	106
12号店	神田東口店	酒場タイプ	2015/4/8	51	100

好立地店は戦略業態への変更

郷土の地酒と肴を楽しむ日本酒居酒屋
『産直鮮魚 日本酒 虎連坊』のブランド育成



季節の“うまい”をつまみにゆっくりと好きなお酒を嗜む大人の和食居酒屋

1号店 新宿店
'98年3月オープン



2号店 大手町店
'14年5月オープン



業態変更
「たぬき」から

3号店 秋葉原店
'15年2月オープン



業態変更
「火楽」から

4号店 八重洲店
'15年6月オープン



業態変更
「膳丸」から

高品質のハイボールが気軽に味わえるバル
『HIGHBALL'S』



- 「ちょい呑み」や「サク呑み」といった需要に応える新業態
- ハイボール専用ディスペンサー『ゼウス』で提供される角ハイボールをはじめ、高品質なハイボールをご提供



ラエのステーション
'14年7月オープン



8.9坪 / 17席

'15年上期出店



'15年1月オープン



8坪 / 16席

伝統の「ふわふわオムレツ」のほか、本格的なフレンチメニューも充実
『ラ・メール・プラール』 名古屋出店



LA MÈRE POULARD
RESTAURANT



ラ・メール・プラール 名古屋ラシック店

赤と白のコントラストが印象的な店内。
フランス本店のクラシカルな雰囲気を残しつつ、
モダンにアレンジしています。

'15年3月オープン



最高品質のドリンク

醸造家が夢に見た、心が震えるほどに
うまいビールを楽しめる新感覚 gastro pub
『MASTER'S DREAM HOUSE』



- 開店日： 2015年3月17日 業態変更 「RCタバーン」から
- 所在地： 東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館1F
(JR 東京駅 徒歩1分 / 地下鉄 大手町駅 B7番・B10番出口 徒歩1分)
- 坪数 / 席数： 46.1坪 / 70席

1	2015年12月期 第2四半期 決算説明
2	当期の取り組み及び今後の重点施策
3	2015年12月期 通期業績予想

2015年12月期 業績予想

(百万円、%)

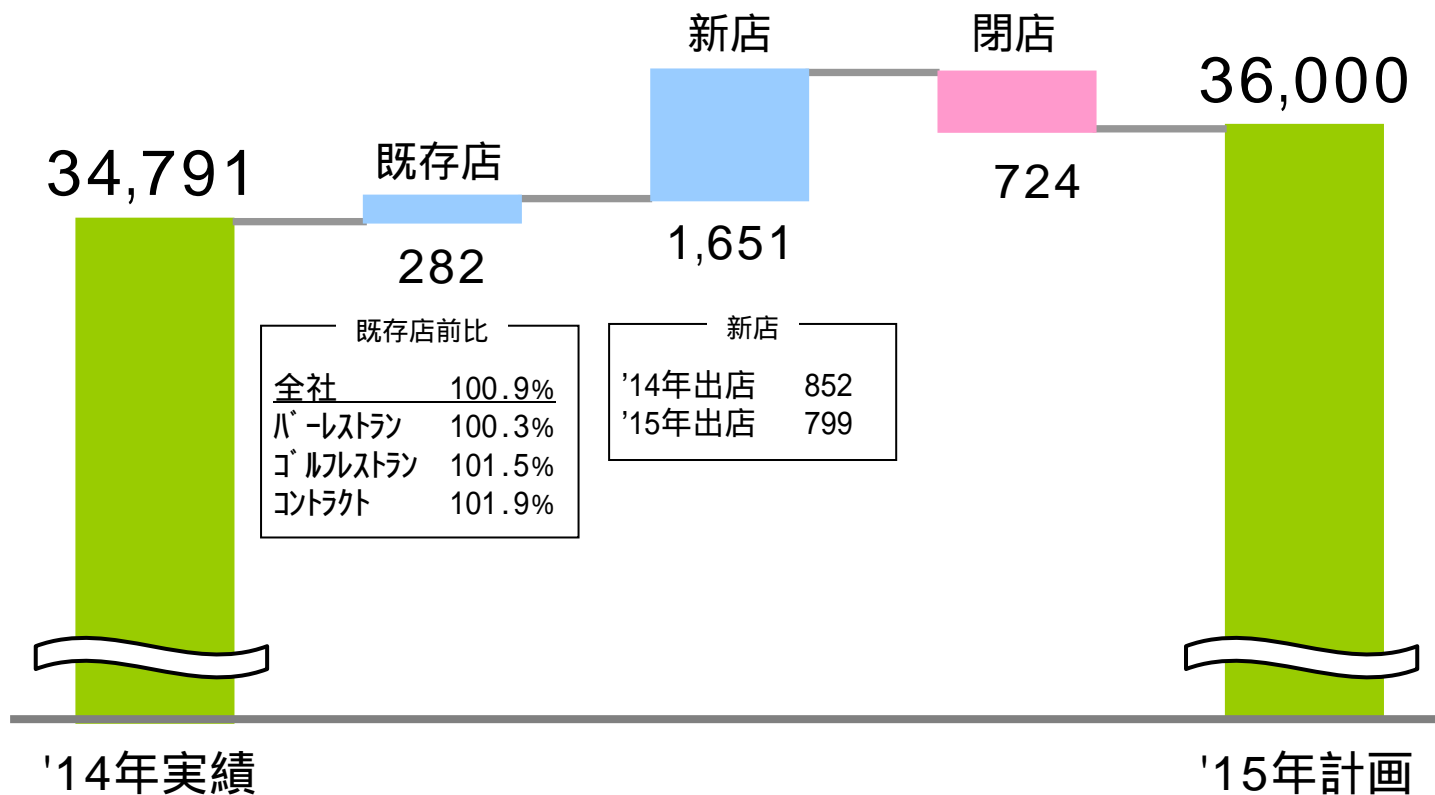
	'14年12月期 実績	'15年12月期 予想	前期比	増減
売上高	34,791	36,000	103.5	1,209
営業利益 構成比	812 2.3%	1,150 3.2%	141.5	337 +0.9%
経常利益 構成比	799 2.3%	1,120 3.1%	140.1	320 +0.8%
当期純利益 構成比	277 0.8%	410 1.1%	147.8	132 +0.3%

前期比 売上高3.5%増、経常利益40.1%増、経常利益率0.8%UP

売上高 増減

(百万円、%)

	14年12月期 実績	15年12月期 実績	前期比	増減
売上高	34,791	36,000	103.5	1,209



2015年12月期 下期 出店・閉店見通し

(店)

	'14年 期末 店舗	'15年上期 実績				'15年下期 見通し			
		出店	業態 変更	閉店	期末 店舗数	出店	業態 変更	閉店	期末 店舗数
バーレストラン	157	4	3	4	157	4	0	1	160
ゴルフクラブレストラン	66	6	-	0	72	1	-	2	71
その他受託	28	0	-	0	28	3	-	0	31
合計	251	10	3	4	257	8	0	3	262

ほぼ計画通りの出店・閉店の見通し

中間配当 : 予定通り1株当たり5円の配当を実施
 年間配当 : 配当方針に沿い、年間1株当たり10円を計画

配当方針

安定的な配当の維持と、将来に備えた内部留保の充実を念頭に置いた利益配分

配当額の推移

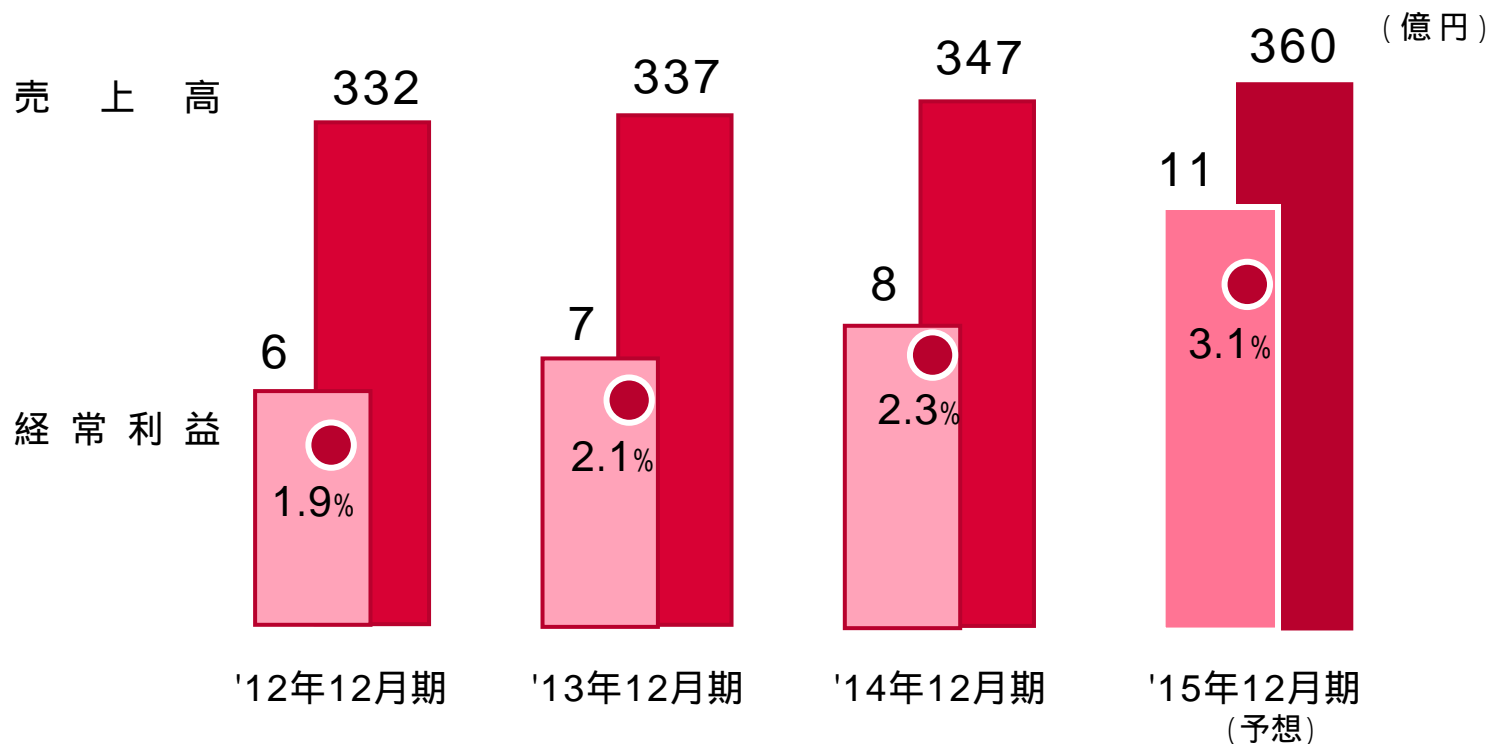
(円)

決算年月	第66期 '10年9月	第67期 '11年9月	第68期 '11年12月	第69期 '12年12月	第70期 '13年12月	第71期 '14年12月	第72期 '15年12月
中間配当額	5.0	—		5.0	5.0	5.0	5.0
期末配当額	5.0	5.0	2.5	5.0	5.0	5.0	5.0 (予想)
1株当り配当額	10.0	5.0	2.5	10.0	10.0	10.0	10.0 (予想)

第68期は決算期変更の経過期間となる3ヶ月決算

<'13年～'15年の3年間の成果にかかる見通し>
 売上高:約8%UP 経常利益:約1.8倍 利益率:1.2ポイントUP

売上高	+28億円	約8%UP	年平均成長率	約2.7%
経常利益	+5億円	約80%UP	(約1.8倍)	
経常利益率	1.9%	3.1%	(1.2%UP)	



本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

株式会社ダイナック
東京都新宿区新宿1 - 8 - 1
TEL (03)3341-4216
<http://www.dynac.co.jp>